

# 愛 労 連

## 愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町 8 - 18  
 労働会館第2ビル  
 TEL 052 - 871 - 5433  
 FAX 052 - 871 - 5618  
 e-mail airouren@lilac.ocn.ne.jp  
 ホームページhttp://www.airouren.gr.jp  
 発行人 見崎徳弘

第89号 2000年10月15日

## 賃金闘争の前進をめざす学習・討論集会

- 10月29日(日)10時から
  - 労働会館本館2F会議室
- ご参加ください!!

# たたかいは広がりはじめた

## 9 争議支援・愛知連絡会議を結成



結成総会で支援を訴える原告たち。マイクで訴える地労委提訴の林益生さん(右から2人目)

住軽金  
スミケイ運輸

# 労働者の命・権利を犠牲

アルミ生産のトップメーカー・住友軽金属工業の主力工場である名古屋製造所と子会社スミケイ運輸(名古屋港区)で、会社の攻撃に対し強制・出向無効裁判や不当労働行為救済の地労委提訴など九つの争議がおこっています。この争議を一日も早く解決し、職場の労働者の権利・雇用を守るべく住軽金九争議支援愛知連絡会議が結成されました。

全港湾会館で開かれた九月二日の結成総会では、港区の労働者・労働組合を始め愛知争議団の仲間九〇名が参加し、山場にさしかかっている九争議の早期解決をめざすたたかいと体制の強化を確認しました。そして当面の行動として11・15秋の行動デーを「住軽金九争議支援・港総行動」として取り組むことを決めました。

借金返済を労働者犠牲で乗り切り

住軽金ではこの一年間



「慢性的睡眠不足の上に、連日の猛暑で圧延などの職場では四五度にもなる過酷な職場環境です。長時間・過密労働の中で足元がふらつくなど、いつ事故がおきても不思議でない状況」と話す強制出向無効裁判でたたかっている鈴木明男さん。

命縮める三直二交代勤務  
 一日の拘束時間が日勤で十三時間、夜勤で十一時間という三直二交代制の連続操業職場で働く労働者は、通勤時間を入れると十五時

たたかいは職場に広がる波紋

鈴木さんと仲間は働きや

### 住軽金九争議とは

- 1、本人の同意がない出向は無効と裁判闘争中の鈴木明男さん。
- 2、会社は受け取った生命保険金を全額遺族に引き渡せとたたかっている団体生命保険裁判の近藤弘子さん、川本信子さん、荒木みづ江さん、松本美若さん(以上住軽金)と園山好子さん(スミケイ運輸)
- 3、倒れたのは連日の長時間・過密労働が原因と労災認定の再審請求中の高野邦彦さん(死亡と同額の生命保険金を受け取った会社に団体生命保険裁判も。スミケイ運輸)
- 4、スミケイ親交労組結成を嫌い、主任だった林益生書記長を平社員に降格したのは不当労働行為と地労委へ提訴。

## 長い間 支援ありがとう

### 愛知提訴団



左から植木、黍原、成木さん

世界の日立を相手に解雇・差別争議でたたかってきた愛知・茨城・東京の争議団(九争議七三名)が全面勝利和解をしました。愛知提訴団の喜びの声です。

大きな感慨の中で、九月二日の和解調印日を迎えました。愛知では旭工場での差別が始まってから二六年目にして、日立に差別是正をさせることができませんでした。よくぞここまで頑張った。私たちがやってきたことに誤りはなかったとの確信がゆっくりと心の中に広がる喜びを感じています。

不屈の田中さんの解雇撤回闘争に励まされる中で、八年前に地労委提訴を決意。この激動の時代に「世

# 世界の日立に全面勝利 たたかいはから26年目に差別是正

## 地労委で勝って 働きやすい職場に

働きやすい職場に

やめさせた仲間もでました。鈴木さんは、「職場でのたたかいはまだ点。一人の声は小さいが、その人がノ」といった瞬間に波紋が広がる」といいます。

その波紋が九つの争議となつてつながり、会社側に「九争議として対応する」と言わせました。点が線に...。

たたかいはこれからです。

会社の降格人事は、組合つぶしがねらいと地労委でたたかっているのは、港地区労加盟のスミケイ運輸親交労組の林益生さんです。

スミケイ運輸は住軽金の一〇〇%子会社。アルミのインゴットなどの輸送を担当する運送会社です。会社に全港湾スミケイ運輸分会が結成され、それを嫌った会社は第二組合を作りまし

しかし第二組合に入らなかつた運転手六〇人を中心に、会社は親交会を作るよう林さんたちに依頼。その後この会員たちに第二組合への加入工作をしたため

林さんたちは労働組合を結成しました。

会社は、書記長だった林さんを見せしめ的に主任から平社員に降格しました。

また組合員に対する賃金差別や組合事務所貸与など、あからさまに差別攻撃してきました。「自由にものが言えて、働きやすい職場にするために地労委で勝ちたい」と話す林さん。林さんは一五年程前、作業中に内蔵破裂の九死に一生を得る程の労災事故に合いました。今もそのために週に一度は病院通いです。そんなからだを押しつけて職場の民主化のために踏ん張っています。



強制出向裁判の鈴木明男さん



団体生命保険裁判の近藤弘子さん

# 今日もサービス残業

## 名勤生協労組青年部が実態調査



配送が終わってから  
また 仕事

あなたの職場ではサービス残業があたり前になっていませんか。仕事が忙しく毎日残業だが、残業代がつけにくい。そんな雰囲気職場にありませんか。

「働きがい、心のゆとりをなくす長時間労働をなくそう」と、名勤生協労組青年部ではサービス労働実態調査をもとに、秋から本音でサービス残業について話し合う取り組みをすすめています。

は、五時三〇分以降もイレギュラーの対応や組合員さんの電話などに追われて、なかなか退勤できないのが現状です。

### 慢性的残業

ある青年は、「配送センターに帰ってくるのが五時過ぎ。片付け・日報・夕礼の業務処理をするので、すでに五時三〇分は回っています。その後も組合員さんと電話の対応があったりクレームの処理をしたり……」商品配達したら仕事は終わりという訳ではありません。「仕事量が多すぎる」「慢性的な残業の実態です。どうせつけても……」

## 一人あたり年間47万円も

転などで労働者の権利は守られていないかなど職場の権利点検を改善させる取り組み、②医療改善反対、介護保障の充実、県の補助金

## 怒りや要求を広げて共同を

11.15 あいち秋の行動デー

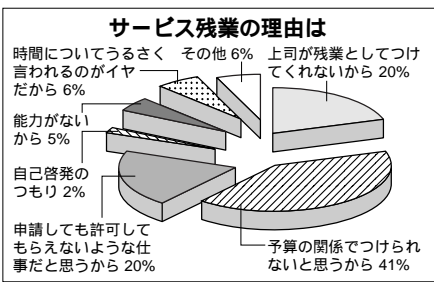
愛労連では十一月十五日を「あいち秋の行動デー」として、地域労連を中心に三つの要求課題（①サービス残業が横行していないか、出向・配

カット反対など社会保障の拡充、③万博・空港など大型公共事業の見直し。税金は暮らし・福祉に、労働者・県民にアピールする全組合員参加の行動日として

問、企業・団体への要請夜の決起集会などの取り組みがすすまられています。千種・名東労連では「時の問題の介護やゴミ、防災問題で」区交渉をおこ

九争議を早期解決するための行動日」とし、銀行や労基署、県労働部への申し入れ、住軽金前での座り込みも行う予定です

名中センターでは第五回



### 東海豪雨災害の被災者のみなさんへ

確定申告（来年1月～3月に申告）の雑損控除または災害減免法で減税（減免）措置が受けられます。確定申告には以下の書類等が必要ですので、保存しておきましょう。

- （1）被災証明書。
- （2）被害の状況と損害金額  
被害にあった家具や電化製品・衣類など通常生活に必要な家財の明細。取得時期や取得価格がわかるもの。（生活に通常必要のない資産。たとえば1個または1組の価格が30万円を超える宝石や貴金属、骨董などは対象外）  
自家用車については、修理代。廃車にした場合は、購入年月日・購入金額
- （3）災害関連支出額の領収書  
災害により直接受けた損失額とは別に、災害のため関連して支払った費用のこと。住宅、家財などの取り壊しや除去費用。たとえば補修した住宅、テレビなどの修理代、量の取り替え費用。
- （4）被害を受けたことによって受け取る保険金、損害賠償金、被害見舞金等の金額がわかるもの。
- （5）源泉徴収票（年末に給与の支払者が発行）

愛労連では12月に学習会を開催します。

## 不払い残業は労基法違反です

いままでサービス残業一掃に向けて、ノー残業デーや「みんなで残業を申請し

してみました。なんと年間四七万円にも。生協全体では二億八千万円が「不払い残業代」になります。

本音出し合って

「仕事が遅いのは力量がな

いからだ」とサービス残業を認めている人もいるから

この秋サービス残業一掃のキャンペーンを計画しています。「サービス残業に

対してどう思っているのか？」職場で本音を出し合うことから始めます。

行動もおこないます。

一宮労連では、三市三町に、「教育や災害、介護保険など」で独自の要

請項目で交渉をおこないます。

「労働時間の短縮で雇用の拡大を」「安心して受けられる介護保険を」「ムダな公共事業はやめ

る」など自らの要求や怒りを職場や地域の仲間へ

広げ、共同して運動をすす

めましょう。

### 第9回愛知働くものの

# 囲碁・将棋大会

とき 11月23日(祭) 勤労感謝の日  
午前9時受付、9時30分開始

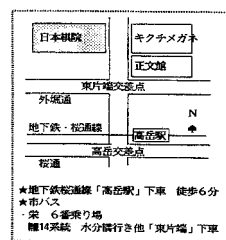
ところ 日本棋院中部本部  
東区東片端 TEL (052) 951-5588

参加費 2000円(昼食付き)



申し込み 愛知働くものの囲碁将棋大会実行委員会  
愛労連(事務局) TEL (052) 871-5433  
FAX (052) 871-5618

〇申し込み締め切り 11月15日



- 大会要項
- ①クラス分け  
囲碁・将棋とも  
・A級……初段以上  
・B級……級位者
  - ②賞品  
1～3位の人に賞品と賞状
  - ③プロ棋士による指導・対局もあります。

駐車場がありませんので公共交通機関でお越しください



上映 11月11日から。(12月2日～15日まで名古屋グランドで字幕上映。)

前売り 一般・高校生は1400円、小中学生・シニア・障害者は900円。

申込み あいち教育映画社 (052) 930-1357、愛労連 (052) 871-5433

# 十五才 学校IV

山田洋次監督作品

学校へ行けない、中学三年の少年が、学校や家庭の息苦しさからのがれ、横浜から屋久島へヒッチハイクの旅をします。世の中の厳しさやいのちの大切さを旅先の出会いから学びます。

「なんで学校へ行かないやいないの。明

るくて素直で、賢くつて……そんな子だけがいい子なの？ そんなこと誰が決めたの」と主張する少年たちに、「結論なんてそんなに簡単に出るもんじゃありませんよ。今の自分はいんだよ」というメッセージが伝わってくる。作品です。